

授業力向上のための試み

能城茂雄*1

Email: noshiro@shigeo.jp

*1: 東京都立上野高等学校 情報科

東京都立学校では、授業研究を通して教科等の専門性を一層高めるとともに、他の教員の指導的役割を担うことができる資質・能力である「授業力」を磨くために、東京教師道場という研修事業を行っている。授業力は、6つの要素から構成されており、単に経験年数を重ねることで身につけられる力ではない。授業力を養成するためには、授業改善のPDCAサイクルを確立することが重要である。著者はさらなる改善を目指し、PDCAサイクルのCheckに特に力をいれるため、独自に授業記録を残し、即座に授業者と授業を共有することで、効果的なPDCAサイクルを確立し授業力の育成を行えた。本稿では、これらの試みについて、2期4年間研修に参加した著者の立場から授業力向上のためのICTを活用した試みを紹介するとともに、授業力とは何か、情報科の教員に求められる資質は何かについて考察する。

◎Key Words 授業力, 情報科教育, 道場

1. はじめに

東京教師道場（以下、道場とする）とは、東京都教職員研修センターが実施するリーダ養成研修のひとつである。目的は、教科等の専門性を一層高め、他の教員に対して指導的な役割を担うことができる資質・能力を磨くためである。

道場は、2年間にわたって継続的に行われる。実施する方法としては、部員と呼ばれる若手の教員数名に対して、授業経験が多く専門性の高い助言者1名で班を構成し、各部員の授業に参加する。授業が終了した後、班で研究協議を行い、助言者が授業及び研究協議に対して、指導・助言を行うといった内容である。

本稿では、著者が2期4年間道場に助言者として参加した立場から、さらなる授業力向上のためにICTを活用した事例を述べるとともに、授業力とは何か、情報科の教員に求められる資質は何かについて考察する。

2. 授業力の6要素

東京都教育委員会では、教員の資質・能力のうち、特に実際の場面において具体的に発揮されるものを「授業力」ととらえ、その構成要素を以下の6つに整理している。



図1 授業力の6要素

すべての教員にとって「授業力」の基盤となるのは「使命感・熱意・感性」「児童・生徒理解」「統率力」であり、これらを踏まえて「指導技術(授業展開)」「教

材解釈・教材開発」「指導と評価の計画』の作成改善」の3つの構成要素が高まっていくと考えられている。

「授業力」は、実際の授業実践を通して向上することから、道場では授業を中心とした研究・研修を行うことで授業力向上を目指している。

3. 授業改善におけるPDCAサイクル

道場では、授業改善を図るために、授業を継続的に評価・改善するためにマネジメントサイクルである表1のような、PDCAサイクルの手法を採用し研修が進められている。

表1 道場におけるPDCAサイクルの活用

	授業作り・学習指導案の作成
Plan	授業者は指導観を明らかにし、ねらいを明確にして授業を構成し、学習指導案を作成する
	授業実践・授業観察
Do	授業は事前に検討を重ねた学習指導案で授業に臨み、授業観察者は「授業観察の視点」を基に授業記録を取る
	研究協議・具体的改善策の検討
Check	授業観察の視点を協議の中心にして、焦点化した協議を通して具体的改善策を講ずる
	授業改善案の実践と報告
Action	授業者は研究協議で得た改善策を整理し、授業改善策としてまとめる

4. ICTを活用した授業Check

道場では、授業観察をして気付いたことを授業記録用紙等に記録を行い、授業後に研究協議を行う。研究協議では、授業者による自評を受け、授業の問題点や課題等を協議し、よりよい授業を行うためのCheckを行っていく。しかし、これまでに助言者として研究協議を行い、授業の課題や改善策を話し合う中で、授業者が無意識で行っている行動や言葉使い等、授業者が気付かないチェックポイントにこそ問題があるのではないか、と考えるに至った。そこで、授業記録を映像で残し授業研究に活用することを試みた。

4.1 授業を記録する上で前提となる撮影の条件

道場における研究授業は収録機材の用意されたスタジオのような環境ではなく、通常の教室やパソコン教室など普段授業で使用している教室で行われる。しかし事前に、部員の所属校へ収録に必要な機材を持ち込み準備することは、機材の運搬における煩雑さや教室の環境を変化させないことへの配慮などから、かなり困難である。そのため、最低限必要な機材のみで撮影を行った。

4.2 授業の記録における問題点とその対策

授業を記録する際に映像が重要な点は当然だが、音声も非常に大きな意味を持つ。ところが教室には授業者の声以外にも質問をする生徒の声や様々なノイズなど、多種多様な音源が存在する。授業者が教室全体に対して行う大きな声での指示もあれば、机間指導をする上で特定の生徒に小声で指示を出すこともある。

撮影は授業の邪魔にならないように、教室の最後部に設置したカメラから行った。最後尾からカメラ付属のマイクで授業者の声の集音を行うと、教室では付属のマイク以外には集音装置を設けていないため、生徒のわずかな私語やざわめきに対してマイクのボリュームが基準になってしまい授業者の声がうまく記録できないという問題が発生する。この問題を解決するために、授業者の音声をメインで収録する小型のワイヤレスホンを使用した。これにより、全体に対する発声や小声で行われる個別指導の音声もクリアに収録することが可能になった。

表2 使用した機材

カメラ	SONY HDR-CX520V
マイク	SONY ECM-HW2
PC	SONY VAIO VGN-Z92DS

また、映像品質は授業者の細かい仕草なども記録するために、地上デジタルハイビジョン放送の解像度である 1440x1080 で撮影を行った。

4.3 授業記録の保存方法と活用

撮影した授業記録は、授業者が研究協議の結果を踏まえて、その日のうちに授業内容を振り返ることができるように、その場でオーサリングを行い、DVD に保存する。保存したファイルは 50 分の授業の場合に AVCHD 形式で約 1.5GB 前後、2 時間連続の授業の場合には、50 分+10 分(休憩)+50 分、合計 100 分の場合には、3GB~4GB のデータ量となる。しかし、たとえ膨大なデータ量でも、表 2 に記載した機材を用いれば、データの取り込みからオーサリングまで 30 分程度で行うことができる。授業後に行う研究協議と同時に DVD へのオーサリングを実行することで、後日郵送する手間を削減できる。また、授業者が研究協議の結果を踏まえて、その日のうちに授業内容を振り返ることが可能になった。

5. 授業記録を受け取った授業者の感想

道場に参加した最初の年は、授業をビデオで撮影せずに、授業観察を行い、その後の研究協議に焦点を向

けた授業記録をメモで残していた。しかし、前述したように研究協議において授業者が意識していない点に協議の話題が集中することがあり、授業者自身が具体的な改善点を把握できないことが多かった。しかし、授業を映像で記録することを始めたところ、授業者から予想以上の反応があった。授業を映像で撮影を始めるにあたって、当初は肖像権などの問題を懸念したが、授業者からは、「自分の授業記録が残ることが嬉しい」「自分の授業を振り返ることができた」などの意見が数多くみられた。また、DVD をその場で渡したところ、DVD を紛失してしまった 1 名を除き、部員全員が授業映像を確認していることから、自分で授業を評価するための手段として活用されていることがわかった。DVD を視聴して気付いた点を尋ねたところ、ほとんどの授業者が、「自分では気付かないような癖がわかった」と答えた。このように、従来型の研究協議では気付きにくかった授業の問題点を確認し、改善することでよりよい授業を行うことができるという意見や「生徒の視点で授業が確認できる」といった意見が多かった。授業映像を確認することで、授業者は良かれと思っていたり気付かなかったこと、生徒には理解しづらかったポイント等に気付き、授業における立ち位置や身振り、手振り、教材のわかりやすさなどを見直すきっかけとなり、さらなる授業改善が行われた。

6. おわりに

今回は、道場という東京都教職員研修センターの事業の中での研修であったため、参加した教員も授業力向上に非常に前向きであった。しかし、教員の中には自分の授業を他人に見せることを拒否する人もまれにあり、授業をビデオで撮影し、記録することに対して、快く承諾してくれる人が少ないのが現状である。しかし、授業を映像で記録することで、第三者的な視点から振り返ることができ、教員個々の授業力向上に大きな武器になることが確認できた。今後も教員の意識改革を進め、個人が授業力向上のために何をすべきか考え、様々な試みを行うことが重要だといえる。

授業記録を撮影する今回の試みは、著者が個人的に行ったため、様々な課題が残る。また、著者がカメラ一台で撮影を行っているため、授業者を中心に撮影を行うと、板書や資料のスライドがどのように進行しているのか、確認できないといった問題点もある。

授業を映像で記録し、確認することは本人の気付かない点に気付くことができ、生徒の視点で Check を行うことで、良い授業を行うための教員の資質向上につながるため、今後も上記の問題点を解決し、授業力向上に努めたい。

参考文献

- (1) 東京都教職員研修センター 東京教師道場
http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/training/teacher_gym.html
- (2) 東京都教育委員会: “東京都公立学校の「授業力」向上に関する検討委員会報告書”
- (3) 東京都教育委員会: “学力向上を図るための指導に関する研究”
http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/information/kenkyuhoukou_kiyou/pdf/ke17/gakuryoku1.pdf